リポート3 トピックス

議員として、議会内外で「議会活動」と「地域活動」を行ったことにより実現・解決した市民要望や市政課題、あるいは市内外の組織・団体への役員就任など、様々な話題（トピックス）があります。
ここではその内容についてお知らせします。

課題、要望の解決・実現

○道路整備

交通安全確保のため下窪地内の損壊した側溝を補修

○道路整備

道路環境改善のため四屋地内の道路を補修

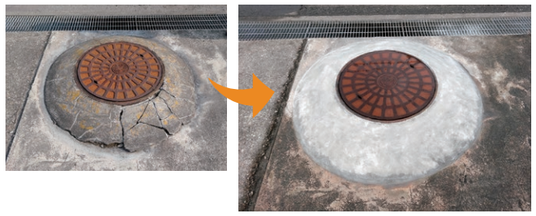
○橋梁整備

交通安全確保のため、波岡地内の橋梁を補修

○環境対策

良質な景観、環境衛生保全のため、内免地内のごみの不法投棄に対応

○防災対策



歩行者等の安全確保、消防防災対策のため、下窪地内の防火水槽を補修（※構造上、突出したマンホールをカットすることは不可であり、補修のみ実施）

役員就任

○西条スポーツ少年団育成会野球部顧問
コーチ職（平成19年秋～）に変わり、昨秋から顧問に就任。

○高岡調理師会顧問
本年2月の新年懇親会に出席。本年から顧問に就任。

○自由民主党高岡市連合支部青年局幹事長
本年3月の定期総会にて幹事長に就任。

○高岡西部中学校同窓会副会長
役員改選に伴い、本年から副会長に就任。

○国条橋パークゴルフクラブ顧問
本年3月の総会にて顧問に就任。

横田せいじ プロフィール

［自己紹介］
○生年月日　昭和55年5月13日（35歳）
高岡市内免 生まれ、美幸町在住
○趣味特技　野球、空手、登山、スキー・スノーボード、読書

［経歴］
○川原小学校、高岡西部中学校、
高岡第一高等学校、富山県立大学工学部卒業
○平成15年　高岡市役所入庁
『都市計画課（地域交通担当）』で、万葉線やコミュニティバスなどの公共交通政策に、『総務課（危機管理室）』で、防災や国民保護などの危機管理政策及び選挙業務に、『財政課（資金、財政・調査担当）』で、予算編成や起債、決算分析などの財政政策に携わる
○平成24年　高岡市役所退職
○平成25年　高岡市議会議員（初当選）

［市議会等での役職］
○経済消防常任委員会　委員
○歴史文化・広域観光対策特別委員会　副委員長
○広報広聴委員会　委員
○議会改革検討委員会　委員
○高岡地区広域圏事務組合議会　議員

［現役職資格等］
○富山県飲食業生活衛生同業組合
高岡支部顧問
○高岡調理師会顧問
○高岡市スキー連盟副会長
○高岡市相撲連盟副会長
○高岡市消防団和田分団員
○高岡商工会議所青年部員
○公益社団法人高岡青年会議所
次世代育成実践委員長
○高岡カラコルムクラブ会員
○南西リーグスポーツ少年団
野球大会副会長
○西条スポーツ少年団育成会副会長
○西条スポーツ少年団育成会
野球部顧問
○西条校区青少年補導委員会顧問
○国条橋運動広場管理協力会事務局員
○国条橋パークゴルフクラブ顧問
○美幸町自治会総務
○美幸町高齢者見守り隊
事務局長兼会計
○内免神明町獅子舞保存会員
○高岡第一高等学校第38回生同窓会長
○高岡西部中学校同窓会副会長
○国際空手道連盟極真会館初段、
審判資格
○㈶日本体育協会公認スポーツリーダー・スポーツ少年団認定員
○自由民主党富山県支部連合会青年部長
○自由民主党高岡市連合支部
青年局幹事長

発行　高岡市議会自民同志会

編集　高岡市議会議員 **横田せいじ**　〒933-0954 高岡市美幸町1-2-55
TEL（0766）25-4017　FAX（0766）25-4007
E-mail office@yokotaseiji.net　HP http://www.yokotaseiji.net/
FB http://www.facebook.com/yokotaseijikouenkai/

横田せいじ　検索

［高岡市議会議員］

横田の政治りぽーと

せいじ

SEIJI's REPORT

2016年春
第5号

Challenge your future!

地域のことに対処しつつ、「持続可能な社会の形成」に向け、引き続き取り組んでいきます。

平成27年11月19日 自民党青年部・青年局北陸信越ブロック会議　県連青年部長として参加

〈上〉平成28年1月17日 国際空手道連盟極真会館寒稽古
〈下〉同2月13日 第33回ジュニアスキー&スノーボード教室閉校式

ごあいさつ

春暖の候、地域の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

北陸新幹線の金沢開業に沸いた昨春から、瞬く間に月日が流れ、2016年の春を迎えました。今年は33年ぶりに雪のない正月で、最終的に1月14日に富山地方気象台が富山市内で初の積雪観測を発表、1939年の観測史上最も初積雪が遅い年となりました。

これはエルニーニョ現象によると言われていますが、梅雨時期に起こる局地的豪雨や、35度以上の猛暑日が続く夏の日など、明らかに地球環境は変化していますし、温暖化が進展する現在の日本にあって、その将来を案じざるを得ない状況です。

こうしたことから、今年の正月は「持続可能な社会の形成」について深く考えさせられたところであり、前述の新幹線関連事業の影響で高岡市一般会計の起債残高が、平成26年度末で1,100億円を超えましたので、財政面においてもまた然りであります。

そうした中、市が本年3月に策定した「高岡市公共施設等総合管理計画」において、市が現在保有する公共建築物及び道路・上下水道等のインフラを、将来も同種・同規模で更新し、かつ新たな施設整備を行わない場合での費用総額は、平成27年からの40年間で6,417.7億円、年平均160.4億円と試算されました。

私はこれまで、「持続可能」という観点から、議会質問の場で財政や環境面の改善に資する提言を度々行ってきましたが、上記のことを踏まえ、地域や今現在のことに対処しつつも、市全体・未来のことを考えたまちづくりに引き続き取り組んでいきます。

結びに、今年度も皆さまがご健康でご多幸であることを心からご祈念申し上げ、第5号発刊にあたってのご挨拶とします。

横田誠二

リポート1 議会活動

高岡市議会は年4回定例会を開催しており、全議員には提出された議案や市政一般に対して質問できる権利が与えられています。この権利をしっかりと使い、各定例会で質問に立ちました。
ここではその内容についてお知らせします。（詳細は横田せいじ公式HPに掲載）

私はこう考える❶
～日々の活動を通じて～

9月～10月にかけ各地で秋祭り、11月には県等との共催による富山マラソン2015が開催されるなどしたところであり、それら地域や市での公務等に当たった中で見えた課題を踏まえ、大きく4項目に渡り質問しました。

平成27年12月定例会

【環境衛生について】

Q 住民が行う祭りなどで排出されたごみは「事業系」一般廃棄物に区分されている。
これら、営利を目的としない祭りや自治会行事などで排出されたごみの取り扱いについて、処分に対する応分の負担までも否定するものではないが、再考の余地があると考える。

A 家庭以外から排出されるごみは、排出者で対応頂きたい。

【財政と社会保障について】

Q 国は2013年度の国民医療費が確定値ベースで初となる40兆円を突破したと発表した。要因は高齢者の増であり、健康寿命の延伸と医療費抑制をいかに進めるかが肝要である。国民健康保険の取り組みで医療費抑制に効果を上げた例として広島県呉市があり、億単位の削減効果を生み出したとのこと。
これら先進自治体に倣い、本市の国民健康保険に係る事務事業の改善を図り、医療費抑制等に努めては。

A 今後、レセプト点検の強化や、国保データベースシステムを活用し、保健師と連携した医療費抑制策を早急に検討し、国保事業の健全運営に努めていきたい。

【スポーツ・地域振興について】

Q 富山マラソン2015について。満足度や課題等検証のため、ランナー1,500名を抽出したアンケートが行われた。大会総括のため、そして次回があるなら、それをより良いものにするために、いかに多くの意見・情報を収集できるかが大切。
そこで、アンケート以外に今後どのような手法で課題等を把握するのか。

富山マラソン2015（H27.11.1）

A アンケート以外では、実行委員会が独自に、ボランティアや自治会などから意見等を頂いて課題などを集約し、今後に活かしていくこととしている。

【産業振興について】

Q 電子入札制度導入により、市外業者等の参入が容易になったものと考える。
私が言わんとすることは、県外等に本社を置き、納税などで本市にあまり恩恵をもたらさない大規模企業等の参入がどれほどあり、影響はどの程度かということだが、山口県下関市など、「地元企業優先発注等に係る実施方針」を掲げる自治体も存在する。
そこで、本市の地元企業への配慮についての考え方や具体的措置内容は。また、昨年度の工事と物品の市内・市外・県外業者の落札件数及び割合は。

A 「高岡市建設工事等入札参加者の資格審査及び選定等に関する要綱」を定め、可能な限り市内企業から選定している。
平成26年度契約実績では、「工事」は市内本店が690件・97.0%、市外本店が21件・3.0%。「物品」は市内本店が323件・73.2%、市外本店が118件・26.8%。

Q 価格競争を度外視した地元企業優先方針は取るべきでないと考えるが、落札価格がそれこそわずかである場合、地元企業が優先されるような仕組みなどがあれば、結果的に税収や消費行動で本市の活性化や利益となって返ってくるものであり、これを踏まえ、地元企業へのインセンティブ付与を検討しては。

A 現行の地方自治制度では難しいと考えるが、他市の状況を注視していきたい。

私はこう考える❷
～今、何をすべきか～

北陸新幹線開業から1年。速達型の新高岡駅への停車問題や、今後のまちづくりに向けた財源確保の他、本年6月から引き下げとなる選挙年齢への対応等、時宜を捉え、今行うべき施策に関し、大きく4項目に渡り質問しました。

平成28年3月定例会

【安全・安心のまちづくりについて】

Q 各校区に貸与の小型除雪機は概ね2台で、機械運転に必要な資格取得のための、市で無料開催されている講習会は人数制限がある。このため結局行政頼みとなり、市除雪路線の追加要望の増が見込まれるが、除雪予算にも限界がある。
そこで、小型除雪機の増設を提案する。

A 増設の要望があれば、地域の状況を見ながら検討していきたい。

Q 道幅が狭く、市及び各校区の除雪機が入れない地区もあった。
そこで、より小型の手押し式除雪機の貸与または自治会購入の際に支援を行うなどの対策が考えられるが、市の所見は。

市から各小学校区へ貸与されている地域ぐるみ除雪車

A 他都市の事例なども調査し、必要性等について検討していきたい。

【平成28年度当初予算について】

Q 平成28年度以降も引き続き予算の重点化、財源確保が必要だが、人件費については総務省公表の決算カードではH17と最新H25比較で、削減額が30億円以上であり、この効果を永続的に出すことは難しい。
今後は財源確保に向けた総合的取り組みの中でも、何に重点を置くかや、新たな取り組みを考えていくべきであり、そこで、鎌倉市等のように歳入確保に向けたクラウドファンディング導入を提案する。また島根県等のように、民間団体への同制度導入を支援することで地域振興を図る取り組みについて、これは市の活性化に伴う収入増などの遠因になるので、併せて提案する。

A ふるさと納税の活用メニュー「平成の御車山制作」で既に実施している。新年度から、個別プロジェクトを対象とするものも含め検討を進める。市民団体等への活用支援については、今後研究していきたい。

【選挙啓発について】

Q 全体的な投票率の低下、特に若年層への対策が課題である中で、選挙年齢が6月から18歳に引き下げとなり、啓発活動の必要性が高まっている。本市では投票率向上に向けた一環としてイオンへの期日前投票所設置を行っているが、本市の期日前投票所の利用状況は。
ちなみに、他自治体でもJR松本駅自由通路や松山大などに期日前投票所を設置し、一定の成果を収めている。そこで、若者の投票率向上に向け、継続の有無は別として、市内の大学等への期日前投票所設置を提案する。

A 直近の県議選では全投票者の約22%の方に期日前投票所を利用頂いた。市内の大学等への設置は難しいと考えている。若年層の投票率向上等に向け、引き続き調査・研究していきたい。

Q 松山市選管では様々な施策により啓発活動を積極的に実施しており、本市も先進自治体にならい、新たな取り組みを進めるよう提案する。

A 高岡市明るい選挙推進協議会と連携し、新たに選挙啓発サポーター「T-voice」を募ることとし、大学生等などに呼びかけている。これを活用した活動を通じ多くの若者が投票所に行ってもらえるよう取り組みを進めていきたい。

【交通対策について】

Q 新幹線が開業したがまだ課題はある。うち速達型の新高岡駅定期便化等に向けては、開業2年目以降も同水準の運動を展開することは難しい。
こうした中、1月24日に北陸新幹線はスピードアップの余地ありとの新聞報道があった。今、東北新幹線（宇都宮一盛岡間）が時速320キロで走行するなどしているが北陸新幹線は260キロ。これは昭和45年の全国新幹線鉄道整備法で上限速度が制限されているためであり、また、旧国鉄と沿線自治体との約束で、例えば東京一大宮間が時速110キロに抑えられるなどしている。末尾に、東京一富山間は1時間半程度にまで短縮できるとの識者の言葉も掲載されている。
そこで、時間短縮に資する運転速度見直しに向け、JR等への働きかけなど何らかの行動を起こされるよう提案する。

A 市としては、かがやき定期便停車と併せ、はくたかの利便性を高めるという視点からの運行ダイヤ編成について要請していきたい。（＝速度見直し要請はしない。）

リポート2 地域活動

議員活動は、「議会内」と「議会外」での活動に大きく分けられます。
「高岡の活性化」と「住み良い地域づくり」実現のため、
議会外でも様々な活動を行っています。
ここではその内容についてお知らせします。

高岡市議会「議会報告会」

高岡市へ要望書提出

国際空手道連盟極真会館主催
「第15回富山県型競技選手権大会」

自民党県連県内一円街頭遊説
県連遊説局次長として参加

議会「自民同志会」東京視察研修

第12回全日本中学生女子・第18回小学生女子相撲選手権大会に係る高岡市表敬

新自治体経営塾研修会

平成28年高岡市消防出初式

第30回日本海高岡なべ祭り

石橋広暉君を応援する会
高砂部屋入門パーティー

土曜学習フェスタin和歌山へ
（講座の1つ、エアロケットを飛ばす）